農業経営者が主催する実演研修会
俺たちが注目している機械はこれだ！
～テーマは、播種前の床づくり～


トラクターメーカー各社の協力を得て10台のトラクターと作業機、GPSガイダンスなどが集結


今回の実演・研修会を企画した結城良裕氏（嫁、募集中!!）

爪もの作業機代表は「スタブルカルチ」（スガノ農機）

北九州各地からの参加者に加えて、本州は千葉、愛知、滋賀、岡山の各県から参加した遠征組も含めて、参加者は総勢100名近くに！

播種床づくりが無事に終われば、ドリルシーダーの出番


ショートディスク代表は「ヘリオドール」（レムケン）


宿泊参加した北九州のメンバーと本州参加組の集合写真

去る1月24日に福岡県宮若市で「九州明日の農業を考える会」の実演研修会が開催された。北九州地域の次世代を担う若手の農業者らがメーカー各社に呼びかけて実現した。昨年に続く2回目の開催となる。今年のテーマは「播種前の床づくり」。

北九州地域は一般的に水稲と小麦の二毛作地帯である。稲刈り後の小麦播種前の作業などはまさに天候を見ながらの戦いになる。降雨量が多いので、面積が増えると、作業効率を上げなければやっていけないという。企画・運営を進めた福岡県那珂川町の結城良裕氏は「作業効率を上げるためには、作業速度を上げるか、作業幅を増やすか、両方をかなえるかの3つがある。できれば両方を追求したい」と話す。普通に移動できる作業幅は2・5m、求める作業速度は時速10km程度。

興味を持ったのは水田経営でも使える輸入作業機だ。「実際に見てみたい。何人集まれば、メーカーさんは実演機を持ってきてくれるだろうか」。仲間に声をかけ、メーカーに協力を仰いだ結果、100名近くが集結するビッグイベントになった。各メーカーの多彩な作業機が揃うと聞いて、本州から駆けつけた参加者もいた。特に、ショートディスクが関心を集めていた。（加藤祐子）

1 2 3 バーチカルハロー

鎮圧ローラーに何を選ぶのか？

垂直に2本爪が駆動して砕土し、後部のローラーで鎮圧する。播種床づくりに最適な作業機だ。今回は1パッカーローラー仕様、2スパイラルローラー仕様、3カゴローラー仕様の３種類がラインナップ用意された。土質に合わせて使い分けたい。プラウ耕や爪もの作業機、ショートディスクの後行程にも。


1
バーチカルハロー 2.3m（スガノ農機）


3
KUHN・パワーハロー 2.5m（日本ニューホランド）


2
マスキオ・パワーハロー（ピコンジャパン）

頑丈な作業機」

今回の実演会に並んだ機械を以下の通り。
それぞれトラクター、作業機の順に列挙した。

⑥T6-140＋KUHN・パワーハロー 2.5m（日本ニューホランド）　⑦井関TJV75＋バーチカルハロー 2.3m（スガノ農機）
⑧JD-6190R＋レムケン・フロントマウントカルチベーター＋レムケン・コンビドリルor レムケン・コンパクトディスクハロー（ヤンマーアグリジャパン）
⑨EG105＋レムケン・コンパクトディスクハロー 2.5m（ヤンマーアグリジャパン）　⑩CT1010＋サブソイラ（ユーザー協力）

4 5 6 爪もの作業機

簡易耕で高速作業は実証済み!?

4スタブルカルチはコールターを組み合わせると、前後が長くなるが、表面残渣と土はよく混和する。フロント作業機にも使える5レムケンのトパスも並んだが、水田には高馬力すぎるとの声も……。排水対策に欠かせない6サブソイラはフルクローラとの相性が抜群！


4
コールター CNC8＋スタブルカルチSC8PYL（スガノ農機）


6
レムケン・フロントマウントカルチベーター「トパス」


5
CT1010（ヤンマー）＋サブソイラ（スガノ農機）


8
レムケン・コンパクトディスクハロー「ヘリオドール」


7
レムケン・コンパクトディスクハロー「ヘリオドール」

7 8 9 ショートディスク

水田経営者も興味津々!!

レムケンのヘリオドールは関心が高い。7のゴムローラーは重量があるので、8の鎮圧ローラーに比べてトラクターも高馬力を要する。一方、グレゴワールベッソンはカゴローラーのみが油圧で持ち上がるので、移動時に重量バランスが取りやすいと好評価だった。


9
グレゴワールベッソン・ショートディス3m（日本ニューホランド）

水田経営者の要望は、「90馬力以下で引ける2.5m幅の

①クボタM135G（パワクロ）＋コールタCNC8＋スタブルカルチSC8PYL（スガノ農機）
②クボタSMZ955（パワクロ）＋マスカー・ドリルシーダー（スガノ農機）
③クボタMZ755＋マスキオ・パワーハロー（ビコンジャパン）　④クボタMZ655＋GPSレベラー（スガノ農機）
⑤T6-165＋グレゴワールベッソン・ショートディス3m（日本ニューホランド）

10 RTK－GPSガイダンス

狭い圃場でもＡ－Ｂラインがとれる

ジオサーフ社はTeejet・MATRIX PRO840GSをRTK-GPSで実演。ベクトル認識により、A-Bラインを５m程度の走行でも認識できるのが強みだ。カメラ入力により、前方のカメラ映像上にガイダンス画面を映し出すこともできる。



10


11

11 GPSレベラー

圃場の均平作業を高精度化できる

レーザーレベラーの普及に伴い、レベラーによる作業時間は年々増加傾向だ。均平作業を効率化、高精度化できる新技術がこれ。水平方向の精度が高いRTK-GPSを圃場の均平作業に利用する。（詳細は66ページを参照）